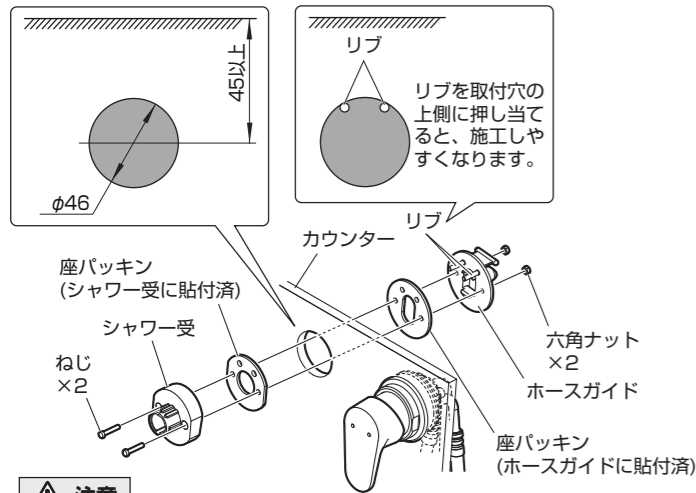


(4) 背面のホースガイドへ六角ナットを挿入した後、シャワー受け、ホースガイドをねじで固定してください。



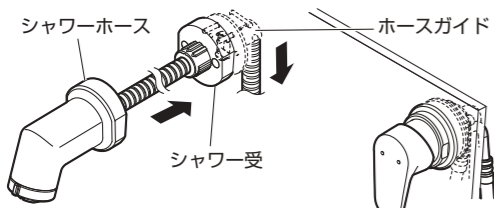
注意

●ねじ・六角ナットに緩みがないよう確実に締付けてください。ねじ・六角ナットが確実に締付けられていないと、シャワー受け・ホースガイドが傾いたり、水漏れの原因になります。

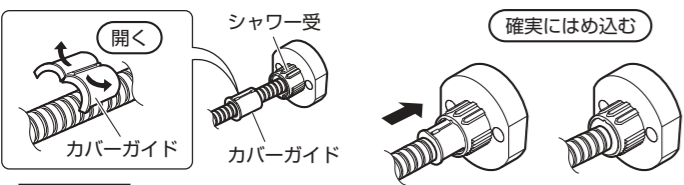
(5) モンキーレンチなどを用いて、シャワーホース先端部のホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）をはずしてください。



(6) シャワー受け・ホースガイドにシャワーホースを通してください。



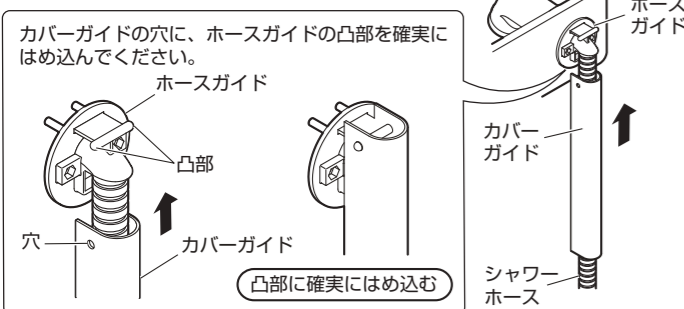
(7) カバーガイドを開いてシャワーホースに取付け、カバーガイドをシャワー受けに確実ににはめ込んでください。



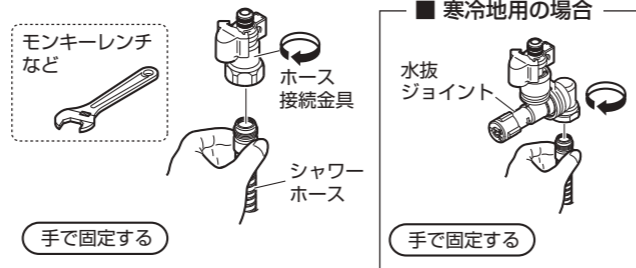
注意

●カバーガイドの向きに注意してください。
●カバーガイドがシャワー受けに確実にハマっていることを確認してください。カバーガイドがハマっていないと、シャワーホースがスムーズに動かなくなるおそれがあります。

(8) シャワーホースにカバーガイドを通して、ホースガイドに固定してください。



(9) モンキーレンチなどを用いて、シャワーホース先端部にホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）を取付けてください。



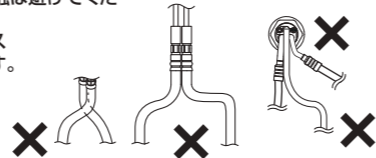
注意

ホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）のオリングの傷、ゴミかみに注意してください。

注意

銅管・ホース施工上の注意点

※下記注意事項は必ず守ってください。
銅管・ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
銅管・ホースが折れた状態でご使用にならないでください。
●銅管は曲げないでください。
●ホースの最小曲げ半径は50mmです。ホースを必要以上の力で曲げたり、極端に屈曲しないでください。
●銅管を無理に引っ張ったりしないでください。
●銅管・ホース同士の不要な接触は避けてください。摩擦による外傷で銅管・ホースの性能劣化の可能性があります。



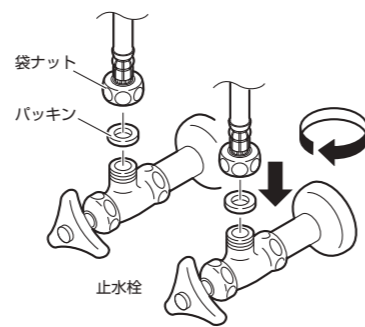
シャワーホース施工上の注意点

※下記注意事項は必ず守ってください。
ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
●シャワーホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
●シャワーホースの最小曲げ半径は50mmです。シャワーホース極端に屈曲したりねじったりしないでください。



4 給水・給湯ホースを取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから、止水栓などに固定してください。



※ 締付けトルクの目安：24.5N・m

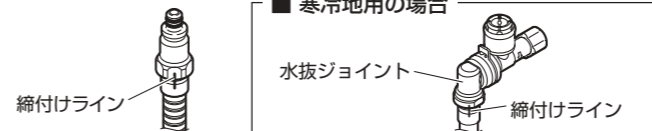
注意

●袋ナットは、ゆるみがないように確実に締めてください。袋ナットが確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
●パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
●給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。

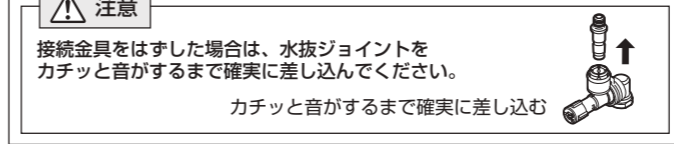
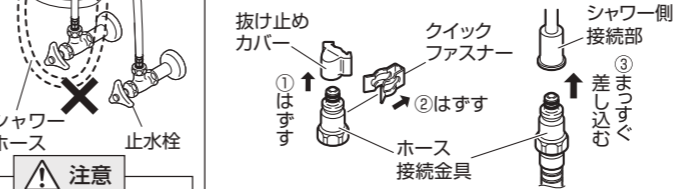
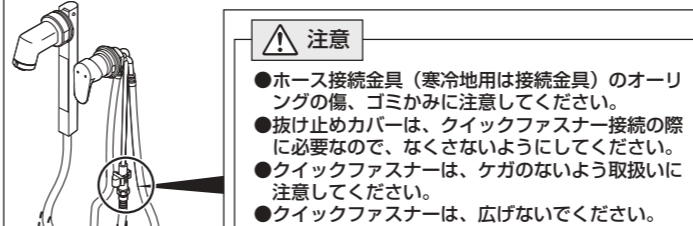
5 シャワーホースを接続します。

注意

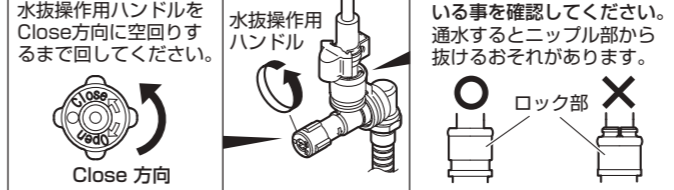
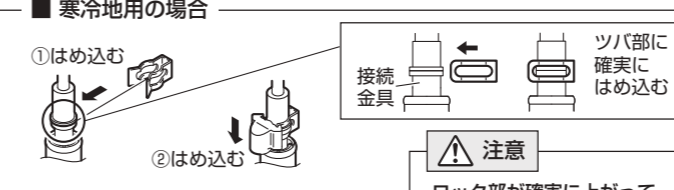
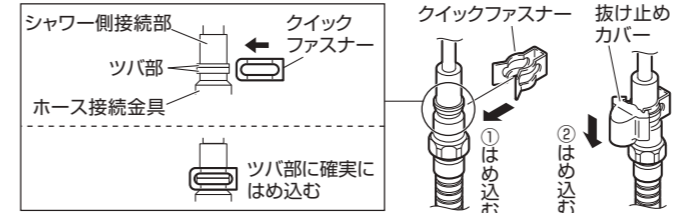
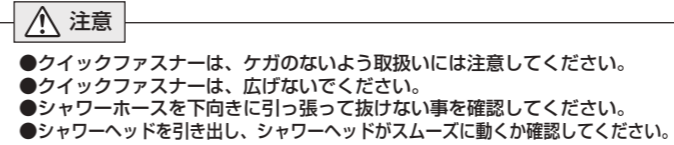
ホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）とシャワーホースをはずした場合は、回らなくなるまで締付けた後、工具などで確実に締付けてください。（締付けトルクの目安：1.5N・m 締付けラインを目安に締付けてください。）



(1) ホース接続金具（寒冷地用は接続金具）の抜け止めカバーとクイックファスナーをはずし、シャワー側接続部にホース接続金具（寒冷地用は接続金具）をツバ部のすき間がなくなるまで差し込んでください。

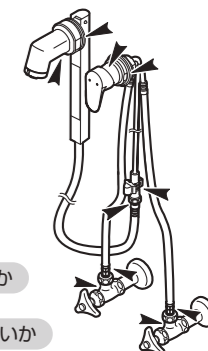


(2) クイックファスナーをシャワー側接続部とホース接続金具（寒冷地用は接続金具）のツバ部に確実ににはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実ににはめ込んでください。



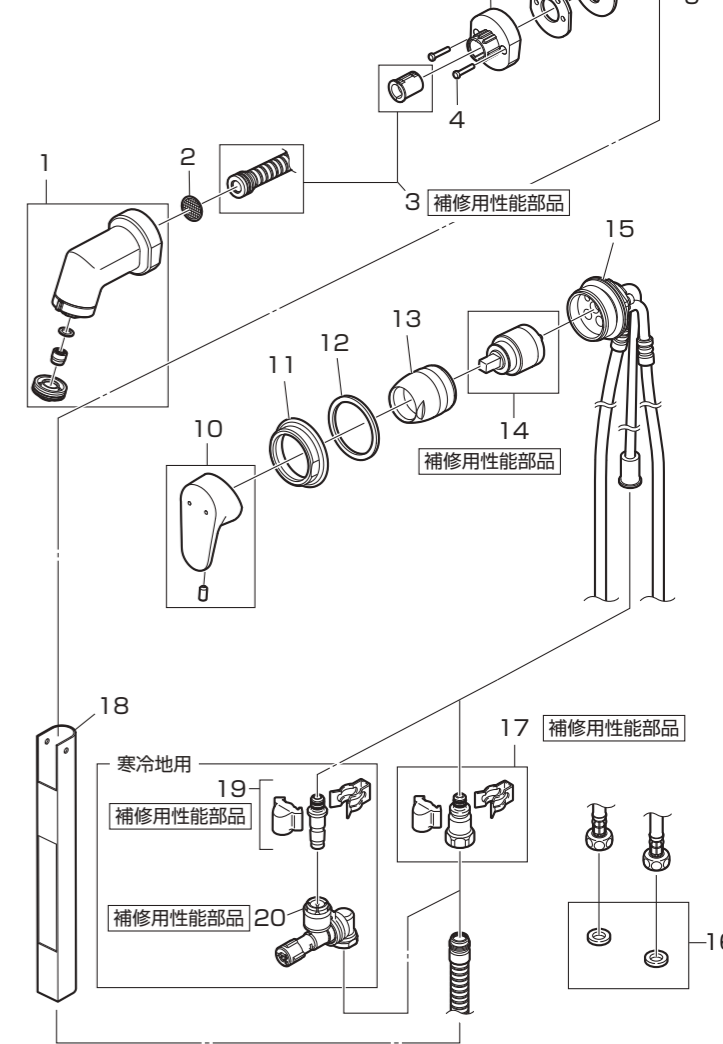
6 ガタツキ・水漏れチェックをします。

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。ガタツキの確認後、止水栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめてからやり直してください。



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくにご使用ください。



| 一般用 | | 寒冷地用 |
|----------------|------------------|-------------|
| 1. シャワーヘッド(切替) | 13. カートリッジ押え | 19. 接続金具組品 |
| 2. ストレーナ網 | 14. シングルカートリッジ | 20. 水抜ジョイント |
| 3. シャワーホース組品 | 15. 胴 | |
| 4. ねじ | 16. パッキン | |
| 5. シャワー受け | 17. ホース接続金具(逆止付) | |
| 6. 座パッキン | 18. カバーガイド | |
| 7. 座パッキン | | |
| 8. ホースガイド | | |
| 9. 六角ナット | | |
| 10. レバー | | |
| 11. 座 | | |
| 12. 座パッキン | | |

シングルスプレー混合栓(壁出)

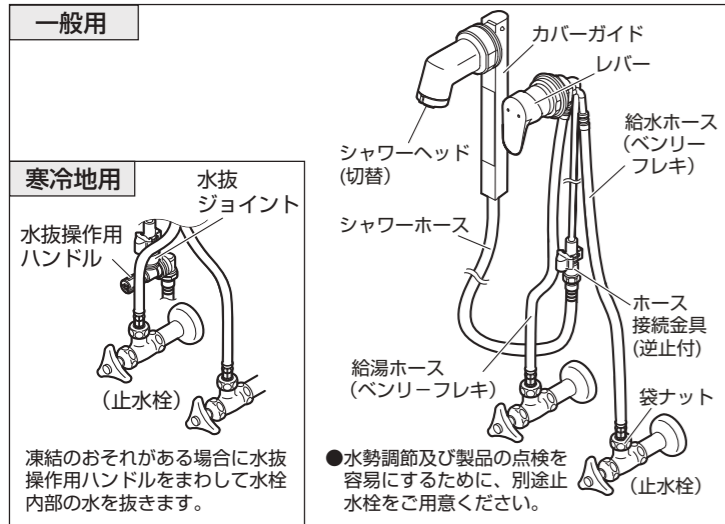
K3715EV-13 (寒冷地用) K3715EK-13

取扱説明書

- ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。



ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

| 用語および記号の説明 | |
|-------------|---|
| 警告 | 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」 |
| 注意 | 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」 |
| 注意 | 「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。) |
| 禁止記号 | 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。) |
| 禁止記号 | 「分解してはいけません!」 |
| 禁止記号 | 「指示した場所に触れてはいけません!」 |
| 指示記号 | 「指示通りしなさい!」(一般的な行動指示記号です。) |

警告

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。

- 使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ストレーナの掃除をする際は、止水栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ### 注意
- 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - 長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。
 - 高温の湯をお使いのときは、シャワーホースに直接肌を触れないでください。シャワーホースは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。
 - (給湯器の設定温度について) 給湯温度は最高85℃まででお使いください。85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。
 - シャワーには高温の湯(60℃以上)を通さないでください。給湯温度が60℃以上の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。シャワーヘッドが破損し、やけどをするおそれがあります。安全のため、適温での使用をおすすめします。
 - レバーの温度位置を確かめて吐水してください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
 - レバーは、ゆっくり動かしてください。レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
 - 高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
 - 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。
 - 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - (樹脂メッキ付部品の場合) 樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。
 - 鋭利な物を当てる
 - 衝撃を与える
 - 落とす
 (樹脂メッキ部品の例) シャワーヘッド など
 - シャワー受先端やレバーに重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。
 - シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
 - シャワーホースをねじったり、無理に曲げないでください。シャワーホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - シャワーホースやシャワ受に水をかけないでください。水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - シャワーホースを引き出してお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワーヘッドやシャワーホースをつけないでください。汚水が器具に逆流したり、水がシャワーホースを伝わって落ち、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - 洗面ボウルに水を溜める際は、目を離さないでください。水があふれ、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - シャワーヘッドをシャワ受に収めた状態でシャワーヘッドを回さないでください。シャワーヘッドが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - (寒冷地用の場合) 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - (寒冷地用の場合) 水抜きは水抜き以外の目的で開けないでください。水抜き部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ご使用について 吐水・止水・温度調節

レバーで吐水・止水・温度調節ができます。本製品は「+eco カートリッジ」搭載製品です。

温度調節

レバーをクリックより右にまわす → 水
クリックより左にまわす → 次第に温度が上がる

左 湯 右 水

混合

ここがポイント

上記位置にクリックを設けることで、中央位置で上げた際に湯が出たり、給湯器が着火するのを防ぎます。

吐水・止水

レバーをクリック手前まで上げる
→ 不意に最大吐水になるのを防止
クリックを乗り越えるまで上げる
→ 最大吐水
下げる → 止水
レバーを上げるほど水量が多くなります。

最大吐水

止水

ここがポイント

吐水操作時、クリック手前までの操作でご使用頂きますと、無駄な水の使用を防ぎます。

温度調節が難しいときは?

●給湯温度を下げる。

温度調節が難しいときは、次の方法で調整しやすくなることがあります。

給湯 85℃ → 給湯 60℃

●水側の止水栓をしぼる。

止水栓(水側)

高温の湯が出ないときは?

レバーを湯側にまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機(給湯リモコンなど)の給湯温度を42~60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側にまわしてください。

給湯 40℃ → 給湯 60℃

注意

高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとレバーで適温に戻してしばらく水を流してください。

(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のレバーを全開に(吐水量を多く)するか、給湯機の温度設定を下げてください。

着火

ご使用について シャワーの使用方法

シャワーヘッド(切替)で整流吐水・シャワー吐水に切替えができます。

■整流吐水...切替レバーを右にまわす。 ■シャワー吐水...切替レバーを左にまわす。

整流器

シャワーヘッド(切替)

よく振る

注意

止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。いつもポタポタ出ているのはハンドルの閉め方がゆるいか水栓のバルブ開閉ユニットが故障しているかのどちらかです。しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。シャワーヘッド内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動などによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出る場合があります。

※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。

- シャワー受は動きません。
- シャワーヘッド(切替)は引き出せます。

シャワー受

シャワーヘッド

注意

- カウンター下などに収納物などを置いている場合は、シャワーホースがあたらない位置に移動してください。シャワホースにあたると収納性に影響を与える場合があります。
- ホースを引き出した際にホースがたるんだ場合は、ホースに手を添えて収納してください。

ホースがたるんだ場合は、ホースに手を添えて収納

収納物などはじゃまにならない位置へ移動

収納物など

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておく、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど

●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

●洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。

すぐ拭く

日頃のお手入れ ストレーナ・吐水口の掃除

ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておく、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 止水栓を右に回し、止水します。
- 2 シャワーホース接続部・シャワー板をはずします。
- 3 ハブラシなどで網部分・シャワー板を掃除します。

注意

- シャワーヘッドの切替部分の分解はしないでください。
- ホース止めを取はず際は、清幅より細いドライバーを使用してください。

止水

シャワーホース

ストレーナ網

ドライバーなど

2 ホース止め

3 掃除

ハブラシなど

ストレーナ網

整流器

シャワー板

オーリング

モンキーレンチなど

シャワー板

モンキーレンチなど

切り欠き

整流器

シャワー板

オーリング

再使用時

シャワーヘッド(切替)・ホース止め・シャワー板が確実に閉まっているか確認してください。

注意

- パッキン・オーリングが入っていることを確認してください。
- パッキン・オーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- シャワー板を取付ける際は、パッキンがずれないようにご注意ください。
- シャワー板を取付ける際は、部品の順番を間違えないようにご注意ください。水漏れ・切替不良の原因になります。

凍結予防について 一般用の場合

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 室内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

窓を閉めるなど

湯の当たりとクリックの間で出す

少量の水を出すなど

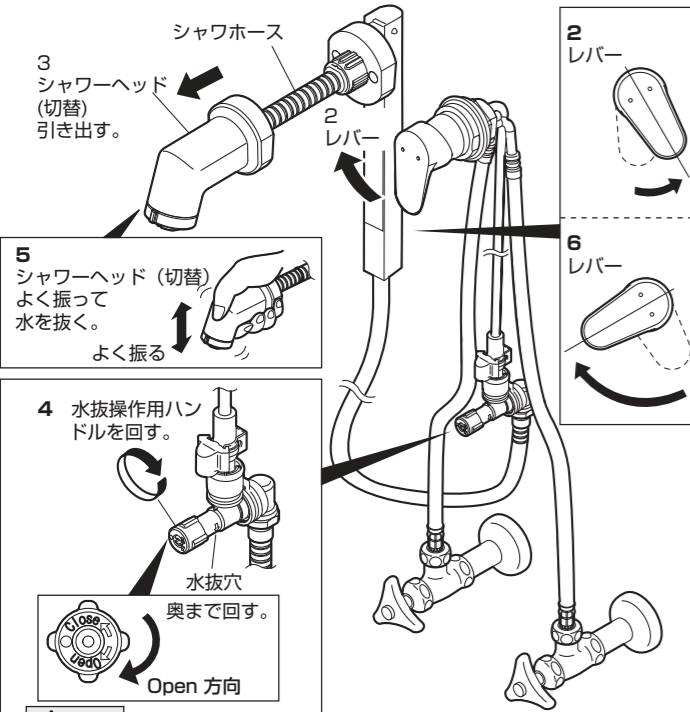
クリック

湯

凍結予防について 寒冷地用の場合（水抜方法）

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備（水抜栓）とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。
- レバーを上げ、右側いっぱいに回します。
- シャワーホースを引き出せる位置まで引き出します。
- 水抜操作ハンドルを Open 方向に奥まで回し、ホース内の水を抜きます。
- シャワーヘッド（切替）をよく振ってそのまま置きます。
- レバーを上げたまま、左側いっぱいに回します。



注意

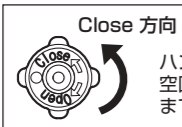
- 水抜部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。
- 水が抜けない場合は、シャワーヘッド（切替）を高い位置に持ち上げ、シャワーホースをしっかり伸ばしてください。

注意

- 水抜部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。
- 水を抜く際は、下に水受（洗面器など）をご用意ください。

再使用时

- シャワーヘッド（切替）・シャワーホースを元の位置に戻します。
- 水抜操作ハンドルを Close 方向に空回りするまで回します。



- レバーを下げて配管の水抜栓を閉め、元栓を開けます。
- レバーを上げて通水し、水抜穴・各接合部から水漏れがない事を確認してください。

定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーホースやその下が濡れていないか確認してください。



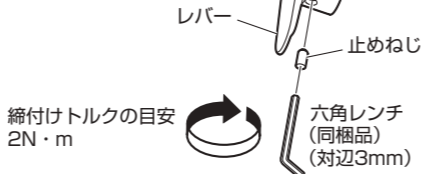
漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を開めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」を参照してください。

定期的な点検 レバーのガタツキ

レバーががたつく場合、止めねじがゆるんでいないか、下記の操作を行い確認してください。

止めねじを六角レンチで増し締めします。



六角レンチは、なくさないように保管してください。

以上の処置をされても不具合がなくなる場合は、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

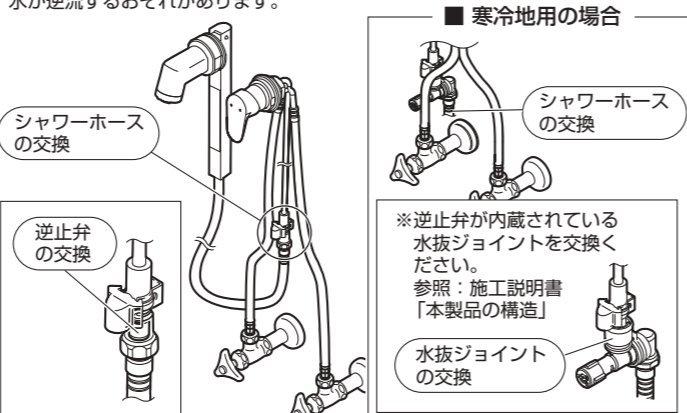
定期的な部品交換 シャワーホース・逆止弁の交換時期

シャワーホースの交換時期の目安：5年

シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。



※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※シャワーホース・逆止弁の交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。

こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

| 現象 | 点検項目 | 処置 |
|--------------|--------------------|-------------------|
| 流量が少ない | 止水栓は開いていますか。 | 止水栓で流量を調節する。 |
| | ゴミづまりはありませんか。 | ストレーナ・吐水口の掃除をする。 |
| 高温しかでない | 水側の止水栓は開いていますか。 | 止水栓で流量を調節する。 |
| | 給湯機から湯がきていますか。 | 給湯機の設定温度・作動を確認する。 |
| 低温しかでない | 湯側の止水栓は開いていますか。 | 止水栓で流量を調節する。 |
| | 湯側・水側の止水栓は開いていますか。 | 止水栓で流量を調節する。 |
| 温度調節がうまくできない | 給湯機から湯がきていますか。 | 給湯機の設定温度・作動を確認する。 |
| | ゴミづまりはありませんか。 | ストレーナ・吐水口の掃除をする。 |
| 水はねが気になる | — | 止水栓かレバーで水量を調節する。 |

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

| 現象 | 点検項目 |
|--------------------|---|
| 各接合部及びレバー上部から水が漏れる | 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。レバー上部からの水漏れの場合は、シングルレバーカートリッジを交換してください。 |
| 止水しても吐水口から水が漏れる | 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。シングルレバーカートリッジを交換してください。 |
| シャワーホースから水が漏れる | 老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワーホースを交換してください。 |

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め（3～5年）の点検・交換をおすすめします。（交換時期は、使用環境などにより異なります。）

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

買替え

ご検討

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。摩耗劣化部品の例：シングルカートリッジ（バルブ開閉ユニット）・逆止弁（逆流防止弁）・シャワーホース・シャワーヘッド・レバー（ハンドル）・網（ストレーナ）・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。部品の詳細については「本製品の構造」を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

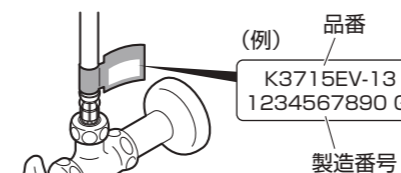
この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの）の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店（工事店）又は当社
- 連絡していただきたい内容：■住所、氏名、電話番号

- 品番、品名
- お買上げ（お取付け）年月日
- 故障内容、異常の状況（水漏れ箇所の説明など）、部品交換の依頼
- 訪問希望日

品番を確認するには水側のフレキホース下部に貼付のシールをご確認ください。



●当社の修理および部品交換料金は「技術料」＋「部品代」＋「出張料」で構成されています。

「技術料」 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」 修理および部品交換に使用した部品代。（無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。）
「出張料」 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。お買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

| | | |
|--------------|---------------------------|-------------------|
| 品番 | 品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。 | |
| 保証期間 | 対象部品 | 期間（お買上げ日/お取付け日から） |
| | 本体 | 2年 |
| お買上げ日（お取付け日） | | |
| お客様 | お名 | 見 本 |
| | ご住 | |
| 電話 | () | |
| 販売店 工事店 | 店名 | 住所 |
| | 電話 | () |

＜無料修理規定＞

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - お買上げ（お取付け）後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - 寒冷地仕様様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問合せください。

★補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721

受付時間 9：00～17：30（土日祝除く）

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>